



三陸ジオパーク推進協議会
H25.6.28

さんい ジオだより

市町村でジオツアーの検討はじまる！

昨年度より再始動した三陸ジオパーク構想。津波被害が甚大だった南部エリアでも、日本ジオパークに申請した今年度は活動が本格化しています。

△陸前高田市▽

復興の取り組みが進む中で、日々変化している陸前高田市。昨年度は二万人を超える方々が被災地見学に訪れたそうです。ランドマークになっていた市内の主要な建物も取り壊され、ガイドするコースも変わりつつあります。

本日の議題は、ジオツアーのモデルコースづくり。

「陸前高田の見どころは被災地だけではない。見せたい魅力的な場所はもっとある。」市役所、観光協会、市立博物館の各職員、そしてガイドが集まり、話にも熱が入りました。

次回は市内のスポットから、具体的なコースづくりに着手する予定です。



△大船渡市▽

県内の博物館の中でも地質展示が充実している大船渡市立博物館。さすがは、ジオの宝庫、大船渡市です。

同博物館は三陸ジオパーク構想の拠点施設のひとつであり、かつ南部のエリアの活動拠点です。

以前より地質観察会を積極的に開催し、地元の大地の魅力を発信してきました。

ジオパーク申請を契機に、博物館を中心に活動が再び展開されていきそうです。

市役所、観光協会、地元ガイドの代表が集まり、全員の意識が共有され、ジオパークへの取り組みに対する熱意を感じました。



大船渡から目が離せません！

大阪USライオンズクラブ様より 寄付を頂きました

雑誌「家庭画報 3号」(世界文化社)に三陸ジオパーク構想の記事が載ったことをきっかけに、私たちの活動を知った

【大阪USライオンズクラブ】様より十萬円の寄付のお申し出がありました。

五月十九日、大阪USライオンズクラブ前会長の池内嘉正様が三陸ジオパーク推進協議会の事務局がある宮古市を訪れた際に、宮古駅前まで寄付の受け渡しが行われました。

今回頂きました寄付は、東日本大震災の津波の教訓を伝える防災教育やジオサイト保全の取り組みなどに活用させていただきます。

大阪USライ



オンスクラブ様のお心遣いに感謝し、よの一層頑張っていきたいと思っております！



岩手県知事

田老の「ジオツアーコース」を体験！

宮古市で津波の脅威を後世の人々に伝えようと活動している被災地ツアー【学ぶ防災】。

六月六日、【学ぶ防災】が新たに整備したジオツアーコースを連増知事に体験していただきました！

まず訪れたのは三王岩。

案内役は元田久美子さん。三王岩の由来や成り立ちをはじめ、新しく見つかった津波右の話など、ジオの魅力を語ってもらいました。



次に訪れたのはたつ観光ホテル。

ホテル6階の客室から当時の様子を撮影した映像と同じ場所、同じ目線で津波の脅威を伝える事の出来る場所となっています。同ホテルは保存する方向で話が進んでいます。

最後に訪れたのは、防災のまち田老の象徴であった防潮堤。

防潮堤の上へ上ると、田老の中心部が一望できます。



霧が広がる後ろに人の『やませ』です(↓)



田老が取り組んできた防災の街づくりや避難路整備の大切ななどを案内いただき、防災を学ぶ場所としてとても大切なエリアであると感じることができました。津波の脅威を伝えるコースに新たに三王岩を加えたことにより、ジオパークをコンパクトに、かつ深みのあるコースができたように感じます。是非、いろんな人に体験してほしいです。

連増知事、元田さん、一緒に体験して頂いた皆さま、お疲れ様でした！

【学ぶ防災・お問い合わせ先】

宮古市観光協会

学ぶ防災 係

電話：0193-77-3305

三陸ジオパーク構想3分講座

こそでかいがん (久慈：小袖海岸編)

ちよつと 自慢したくなる！

あまちゃん(NHK連続テレビ小説)で海女さんたちが素潜りをする浜として登場する小袖海岸。

このあたりの岩場は、今から1億2000万年前に活動した火山や地下で長い時間をかけて冷え固まったマグマ(花崗岩)できています。

この花崗岩は地盤の隆起によってその上にあった地層が侵食され、やがて地表に現れました。



いざ！出陣！ 車窓から海岸線の奇岩を探しに行こう！



その後さらに侵食された結果、久慈市のつりがね洞を代表する奇岩ができたのです。

また外洋に面した岩礁はエサとなる海藻も豊富に育つため、豊かな漁場が作られてきました。

この岩場は、ウニやアワビの豊富な漁場になり、北限の海女を支えています！

～小袖海岸周辺の車窓から～



今月の裏ジオポイント



岩泉町大川の溪谷から見守る獣の姿。石灰岩の溪谷に潜む獣の顔を見つけることはできたかな？

編集長の独り言 今回の記事で紹介した大船渡、陸前高田だけでなく、16市町村それぞれでジオパークに向けた取り組みがスタートしています。また最近旅行関係の出版社からの問い合わせが増えてきました。三陸地域は今年から来年にかけて①復興国立公園(みちのく潮風トレイル)、②三陸ジオパーク、③三陸鉄道全線開通という3大観光トピックがあります。私はこれを「三陸観光・三本の矢」と勝手に名付けています。流行るかな？

「ゆきだるまのつばやき」

三陸ジオパーク構想のエリア内にある、不思議な名前の付いた岩や何かに見える風景など、三陸の裏の見どころとして写真とエピソードを付けて右のアドレスに送ってください。皆さまのご応募お待ちしております！

三陸ジオパーク推進協議会

〒027-0072

岩手県宮古市五月町 1-20

宮古地区合同庁舎内

TEL : 0193-64-1230 FAX : 0193-64-1234

メール : info@sanriku-geo.com

URL : <http://sanriku-geo.com/>